

**民主**  
PRESS MINSHU

号外 静岡3区版

平成25年3月8日

民主党プレス民主編集部

〒100-0014  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話03-3595-9988 (代表)  
press@dpj.or.jp  
http://www.dpj.or.jp

# 明日の日本 生活が第一

～ 協同・連帯 共生・安心 ～

前衆議院議員 民主党静岡県第3区総支部



## 小山のぶひろ 氏に訊く

民主党の再生に向けてー民主党大会開催ー

### ○民主党大会の開催

二月二十四日、民主党大会が開催されました。党大会においては、民主党新綱領が採択されたほか、第四十六回衆議院総選挙の第一次総括、二十四年度活動方針等が審議されました。私も、現職・落選を含め、久しぶりに多くの仲間にお会いすることが出来、再生に向けてそれぞれの立場、持ち場で全力を尽くすことを誓い合いました。

### ○新「民主党綱領」の採択と2013年活動方針

民主党の新綱領(今までも綱領というべき「基本理念」がありました)が、この度、「綱領」という名称を使用したと伺っています)においては、「生活者」「納税者」「働く者」の立場に立つこと、目指すべき社会として「個人が尊重され、多様性を認めつつ、すべての人に居場所と出番のある」共生社会をつくることが高らかに謳われました。また、共生社会の内容として、鳩山内閣が初めて取り組んだ「新しい公共」の拡充や、弱い立場の人々と共に歩むことが明記されました。ちなみに、2013年の活動方針案では、自民党政権による利益誘導政治、将来世代への負担の先送り、新自由主義政策の復活を拒否することを明確に致しました。これらの綱領や2013年活動方針は、2

### ○海江田代表を支えぬ

二〇一二年十二月二十五日の民主党両院議員総会にて海江田万里衆議院議員が新民主党代表に選出されました。海江田議員には、財務金融委員会をはじめ、私は個人的な面でも、ご指導を賜ってまいりました(私が出演する、三月二十一日放映予定の朝日テレビ系列「ピエール瀧のしょんないTV」にも、私からお願したところ、ご快諾いただき、ご出演いただきました)。私は現職のころから、海江田議員と党内運営等について意見交換させていただいてまいりました。温厚篤実なお人柄に加え、何と行わない。対立と憎悪、純化を煽るのではなく、党内融和・党内議論こそ大事」ということを固く決意された方であると思います。派手さは無い方もしれません。しかし、人を温かく包み込むようなオーラを持つ海江田代表の下で、党内がまとまり、それぞれの信念を持った議員や党員・党友が生かされる民主党に生まれ変わることを心より期待しています。外に對して「共生社会をつくる」と言う以上は、党内も、愚かな純化ではなく、多様性や意見の違いを認めつつ協調・共存する「共生」の党運営に変わらなければなりません。

前衆議院議員 小山 展弘



号外 静岡3区版

2013年3月22日号

民主党プレス民主編集部

〒100-0014  
東京都千代田区永田町1-11-1  
電話03-3595-9988 (代表)  
press@dpj.or.jp  
http://www.dpj.or.jp

# 明日の日本 生活が第一

## 小山のぶひろと民主党政権の実績

### 1. 磐田豊岡スマートインター設置認可(内定)・要望活動実施 森町P. A スマートインター設置認可

※民主党政権の実績!羽田雄一郎前国交大臣には多大なご理解を頂きました。

### 2. 「お茶振興法」成立(法案の名づけ親) 「お茶振興議員連盟」設立(発起人の一人)

### 3. 中東遠消防指令施設広域化・高度化

※榛葉賀津也議員や渡辺周議員の協力もいただきながら実現しました。

### 4. 「東海地震財特法」の再成立

※東海地震に備えるための耐震補強工事を速やかに進めるための法律。2010年3月成立

### 5. 大藤学園の重症心身障害の方への発達支援事業、施設建替えへの国の支援の確保(民主党政権下で内諾!)

### 6. 遠州大橋自転車無料化の実現

### 7. お茶原発被害、風評被害、茶凍霜害対策、国からの支援の確保

※特に原発被害補償には力を入れました!

### 8. 「協同組合振興研究議員連盟」の設立...生協・労金等々、様々な協同組合の皆様にご評価いただいております。

### 9. 東日本大震災「二重ローン問題」への諸対策

※民主党 PT 主査として課題解決に尽力

その他、財務金融委員として政府の円高対策、中小企業金融円滑化法等にも取り組んだほか、学校耐震化予算の拡充、静岡県温水利用センターへの支援確保、静岡県内土地改良事業の計画実施、中東遠消防指令施設広域化等にも取り組みました。

小山展弘氏 初の出版

11/30 発売

脱占領時代の対中政策

戦後の日本は中国とどう向き合ったか

健全なナショナリズムの育成、健全な国民意識の醸成が必要。

1950年代の戦後政治家の外交政策、姿勢は、現代の我々に多くの示唆を与える... 戦時中という特殊な状況、冷戦構造という国際環境の中で利害を冷静に検討しつつも、必死に日本の自立を求め、日本の利益の最大化を求める姿があった。1950年代の日本のナショナリズムは、アメリカと同じアジア政策を行うことに満足できなかった...  
— 本文より

著者 小山展弘氏  
出版社 志学社